

令和7年度 第2回 中津川市立図書館協議会 議事録（要約）

日時 令和8年3月18日 15:30～16:20

於 中津川市ひと・まちテラス 活動室 201ab

「中津川市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき公開した

・傍聴人0名

出席者

・委員(7名)

佐尾香津美、曾我富士子、小倉尚美、田中孝一、林悟、熊本淳、岩田七星

・事務局(4名)

文化スポーツ部長 松井嘉之、図書館長 小池孝子、
館長補佐 原美佐子、主査 戸谷朱里(記録)

1.開会

2.あいさつ

(会長)

季刊図書館だよりを回覧で見ました。福山雅治さんが苗木城で映画を撮影されていたり御城印が自販機で買えたり地元にながら知らないことがたくさんあるので季刊図書館だよりを読んで地元愛を育ませていただいています。今回もよろしくお願いします。

(文化スポーツ部長)

年度末のお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今回の図書館協議会は、令和7年度の事業報告と令和8年度の事業計画や予算についてご審議いただきます。予算としては昨日の予算決算委員会にて議決されたところでありますが、その時に、小・中関わらず読み聞かせに来てほしいとか、学童に配本を増やしてほしいという議員からの意見がありました。また、季刊図書館だよりで紹介されている通り、映画「ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」のすごくいいシーンで苗木城が使われました。苗木城は築城 500 年で今後もさまざまな事業展開を予定しています。今日もよろしくお願いします。

3.報告

・令和7年度 図書館活動報告について(資料1)

原:(資料1 説明)

委員：(吹奏楽クラブのコンサートについて)場所は？

原：2階でやりました。雑誌コーナーの前あたりで、棚をよけたりして図書館の中でやりました。1階ロビーで音楽イベントをやることもありますが、今回は図書館の中でやってもらいたいということもあり、図書館の中で行いました。

委員：企画事業について、読み聞かせなんかは地域のボランティアが地域で行っていたりするけれども載っていないが。

原：すみません、要覧にはすべての活動について載せているのですが、今回は中央館で行ったもののみを載せています。

委員：地域館や地域の図書室で行っているものも載せて報告してくれるといいと思う。

原：そうですね。ありがとうございます。

・寄附・寄贈報告について(資料2)

原：(資料2の説明)

・令和8年度文化スポーツ部の方針と重点について(資料3)

館長：(資料3の説明)

委員：文化スポーツ部の方針と重点に図書館の業務としてレファレンスサービスが載っていない。むしろレファレンスサービスをメインとするべきでは？

部長：スペースの関係もあって、方針と重点には載せられていないが、軽視しているわけではないです。

委員：レファレンスサービスについて記載がないので、図書館はただ単に本を貸出しておればいいと思われそう。

館長：確かに、レファレンスサービスの文字が無いのでそう思われてしまうかもしれません。「市民が求めるサービスを提供できる職員のスキルアップ」の部分に「レファレンス能力の充実」というようなことを入れつつ表記を考えていきたいと思います。ありがとうございます。

委員：それと関連して、済美図書館にも司書を配置してほしい。

館長：現在、日額任用職員を4名配置して図書館を管理運用しています。イベントを企画して行ったり日々の運営をしたりといったことはこの4名で行っていますが、レファレンスとか司書が専門的に行うようなことには今は対応できていません。中央館の職員と連携して、常に連絡は取りあっていますので、ご理解いただきたいところです。

・令和8年度事業について(資料4)

原：(資料4の説明)

委員：ネットワークの活用に関わると思いますが、阿木高校への支援を充実させていただけるとありがたいです。阿木高校は市立で、それ以外の高校は県立なのですが、県立は使っている図書館のシステムが一緒だったり他のベテランの学校司書がサポートできる体制が整っていたり連携を取りやすいのですが、阿木高校がサポートから抜け漏れがちで…いま阿木高校へ何かサポートされていますか？

原：今は特に行っていません。

委員：先日、恵那地区の学校司書が集まって情報交換する機会があって、阿木高校の図書館担当の方が久しぶりに参加されて、困ったときにどこに相談したらいいかわからなくて困っているとおっしゃっていて、確かに、阿木高校のサポートが抜け漏れがちになるねという話になりまして。どういったサポートが必要かっていうのもちょっとわからないのですが、気にかけていただければと。館長：確かにそうですね。何年か前に訪問したときは阿木高校からは特に要望が無かったのですが、それももう 10 年くらい前のことだと思うので、改めてこちらからも声をかけさせていただきます。ありがとうございます。

・令和8年度予算(案)について(資料5)

原：(資料 5 の説明)

4.閉会

原：2年間ありがとうございました。2年間のご感想などをお願いします。

委員：2年間会長として、会員のみなさんがそれぞれの場所にて、それぞれの立場で図書館との関わってさまざまな考え方をもっていらっしゃる中で、それを気軽に話してくれればいいなという気持ちで行ってきました。2年間勤めてよかったと思っています。ありがとうございました。

委員：旧館のときから8年くらい委員をやらせていただいています。昔は高齢者が多かったが、ここ2年は若い人も入ってくれていろんな広い視野で意見が出るようになって良かったと思います。自分の読み聞かせボランティアの活動もできる限りやっていたと思っています。これからもよろしくをお願いします。

委員：保育園勤務のため絵本をよく利用させていただきます。閉園する園の勤務ですが、閉園するギリギリまで本を配本していただけて感謝しています。この会に参加させていただいて図書館の取り組みを知れて良かったです。ありがとうございました。

委員：私は西濃出身で初めて恵那地区の高校の担当になって、ほどなくして委員になってほしいと言われ戸惑っていたのですが、みなさんととても温かくて、私の意見も聞いてくださるし、とてもうれしかったです。ありがとうございました。中津高校が去年、文部科学大臣賞を取れたのは生徒や教員、事務の方のおかげでもあるんですけど、それと同時に地域の方が中津の子たちに子どものころに本に親しむという土壌を作ってくれて、高校まで続けてくれたってことの現れだと思いますので、この場で本当に皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員：大学としてひと・まちテラスの会議室や調理室を使うことはあっても図書館との連携がまだまだ取れていないと感じています。図書館がどのような取り組みをしているということがわかったので、今後学生にいろいろ参加するように促したりとかしていければいいかなと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

委員：今回の報告もそうですが、やっぱり中央の図書館に集中してしまっているの、地域館や図書室の活動についても今後取り上げて報告してもらえるといいかなと思います。地域の活動もそれなりのことをやっているんですから、そういうのを取り上げた形で報告してもらえれば図書館協議会で地域の活動についてもよくわかってもらえるので、そうしてもらえるといいかなと思いました。ありがとうございました。

委員：音訳図書を作成するボランティアをしています。音訳図書ってどんな図書やろうって思われるかと思いますが、要は視覚障がい者のために音声に変えて CD にした図書のことです。地味な活動なものであんまり借りられるということも少ないのですが、図書館も一生懸命応援してくれているので今後も活動を広げていけるといいと思っています。

委員：健常者は借りられないのですか？

委員：健常者は借りられないですが、例えばページをめくれないとか本をそのままの状態を読むことが困難な方なら借りられます。

原：これは著作権が関係してまして、視覚障がい者のためなら著作者に許可を取らずに音訳図書を作成して貸してよいというのがあって、誰に貸してもいいというものではないです。これは著作者の権利を守ることでもあります。ただ、昔は本当に視覚障がいの方のみが対象でしたが、今は基準が少し下がっていますので、もし本をそのままの状態で読むことが難しいという人がいれば音訳図書のことをご紹介いただければと思います。

委員：オーディオブックみたいに「ながら読書」で使えるわけではないのね。

原：ありがとうございました。これからの図書館をよりよくするためにいろいろご意見をいただきまして、参考にさせていただきたいと思います。引き続きですが、今後とも図書館へのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。2年間ありがとうございました。